

# 国際漁業資源評価調査・情報提供委託事業（要約）

## アカイカ

今村豊

### 目 的

アカイカ秋季発生中部系群の盛漁期である7月における資源レベルの推定、アカイカ冬春季発生西部系群の加入水準の推定、海洋構造とアカイカ分布の関係の解明並びにアカイカ冬春季発生系群の加入水準及び漁場の把握を目的に、東北区水産研究所と共同で調査を実施する。なお、調査は国際漁業資源評価調査・情報提供委託事業の一環として行われた。

### 材料と方法

試験船開運丸により2019年6～8月に北太平洋海域においてアカイカ資源調査(流網及びいか釣調査)2019年11月～2020年1月に本県東方の太平洋海域においてアカイカ漁場調査(いか釣調査)を行った。

#### 1. アカイカ資源調査(流網調査)

(1) 期 間：2019年6月21日から8月1日

(2) 調査海域：北太平洋公海域のアカイカ漁場域である北緯33度30分～北緯45度00分、東経155度00分～175度30分、および我が国近海のアカイカ漁場域である北緯33度30分～北緯41度00分、東経144度00分。

(3) 操業回数：17回

(4) 調査項目：54地点においてseabird社製CTD・SBE9plusにより表層から最深500mまでの水温と塩分を測定し、操業19地点において10種目合調査流し網50反により漁獲されたイカ類について種毎に全尾数を計数、アカイカについては全尾数の外套長を測定。流網の仕立ては、目合48、93、55、106、63、121、72、138、82、157mm(50m仕立て)を各3反この順に連結し、さらに37mm(50m仕立て)2反を繋げ、連結した全体の網の前後に網なりを保つため商業網(115mm)各9反ずつを連結。

#### 2. アカイカ漁場調査(いか釣調査)

##### (1) 第一次調査

① 期 間：2019年11月8日から11月17日

② 調査海域：三陸沖合から道東沖合海域

③ 操業回数：5回

④ 調査項目：seabird社製CTD・9plusによる表層から最深500mまでの水温測定。2連式14台の自動イカ釣り機で釣獲したイカ類について、種毎に全尾数を計数し、そのうち最大50個体の外套長を測定した。

##### (2) 第二次調査

① 期 間：2019年12月10日から12月16日

② 調査海域：三陸沖合から道東沖合海域

③ 操業回数：6回

④ 調査項目：seabird社製CTD・9plusによる表層から最深500mまでの水温測定。2連式14台の自動イカ釣り機で釣獲したイカ類について、種毎に全尾数を計数し、そのうち最大50個体の外套長を測定

した。

### (3) 第三次調査

① 期 間：2020年1月7日から1月17日

② 調査海域：三陸沖合から道東沖合海域

③ 操業回数：9回

④ 調査項目：seabird社製CTD・9plusによる表層から最深500mまでの水温測定。2連式14台の自動イカ釣り機で釣獲したイカ類について、種毎に全尾数を計数し、そのうち最大50個体の外套長を測定した。

## 結 果

### 1. アカイカ資源調査（流網調査）

17地点中13地点でアカイカの漁獲があり、有漁率は76.4%、漁獲されたアカイカの外套長は13cmから49cmであった。Aラインでは、調査点A-10で30cm以上の大型個体が主体、その他の漁獲があった調査点で30cm未満の小型個体が主体であった。また、Bラインでは、調査点B-39で30cm以上の大型個体が主体、調査点B-33で30cm未満の小型個体が主体であった。Cラインでは、30cm未満の小型個体が主体であった（図1～14）。

### 2. アカイカ漁場調査（いか釣り調査）

#### (1) 第一次調査

海洋観測結果では、0m水温が15.2～18.0℃、50m水温が14.8～18.8℃、100m水温が11.8～16.5℃であった。

漁獲調査について、5地点全てでアカイカの漁獲があり、有漁率は100%であった。漁獲されたアカイカの外套長は19cmから39cmで、有漁地点の漁獲尾数は2尾から68尾、1台（1ライン）・1時間当たりのCPUEは0.02から0.51尾であった（図15、16）。

#### (2) 第二次調査

海洋観測結果では、0m水温が12.0～15.1℃、50m水温が12.0～14.3℃、100m水温が11.2～13.7℃であった。

漁獲調査について、6地点中4地点でアカイカの漁獲があり、有漁率は66.7%であった。漁獲されたアカイカの外套長は21cmから46cmで、有漁地点の漁獲尾数は4尾から21尾、1台（1ライン）・1時間当たりのCPUEは0.03から0.15尾であった（図17、18）。

#### (3) 第三次調査

海洋観測結果では、0m水温が7.5～13.5℃、50m水温が7.5～11.1℃、100m水温が6.1～11.0℃であった。

漁獲調査について、9地点中3地点でアカイカの漁獲があり、有漁率は33.3%であった。漁獲されたアカイカの外套長は24cmから41cmで、有漁地点の漁獲尾数は1尾から102尾、1台（2ライン）・1時間当たりのCPUEは0.02から1.36尾であった（図19、20）。

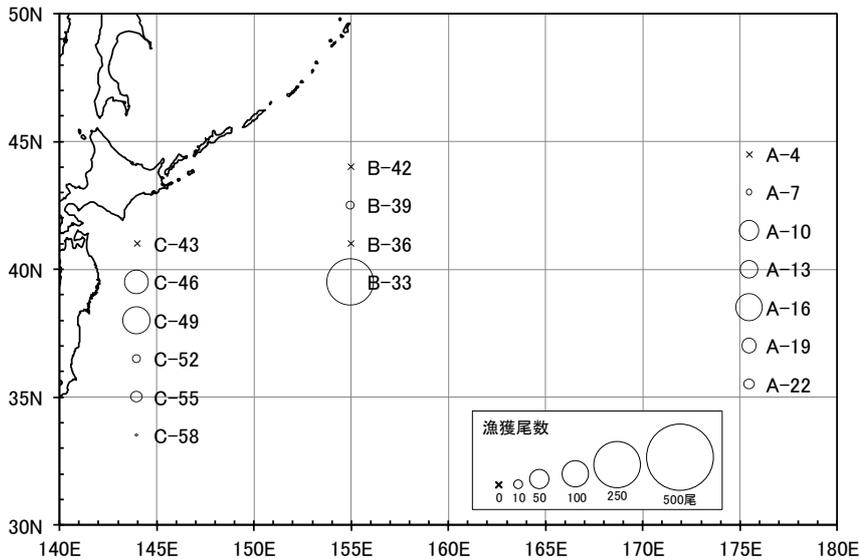


図 1. 流網調査結果 (アカイカ資源調査)

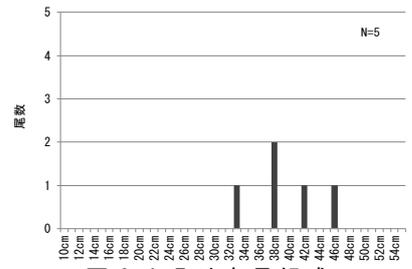


図 9. A-7 外套長組成

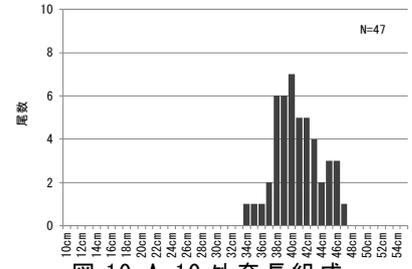


図 10. A-10 外套長組成

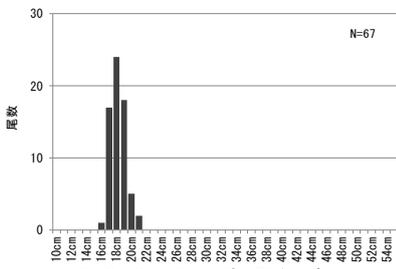


図 2. C-46 外套長組成

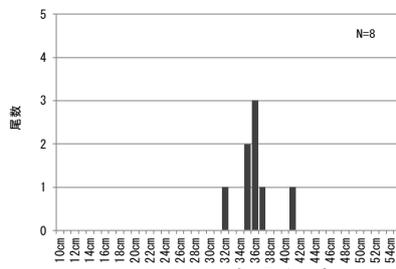


図 6. B-39 外套長組成

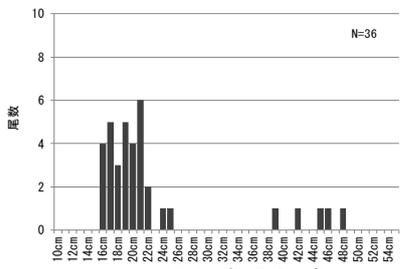


図 11. A-13 外套長組成

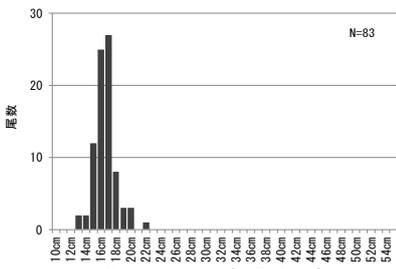


図 3. C-49 外套長組成

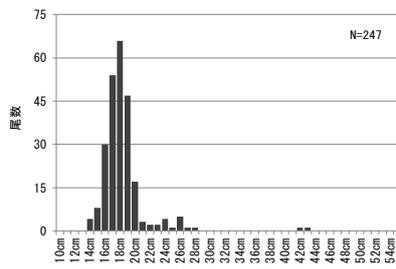


図 7. B-33 外套長組成

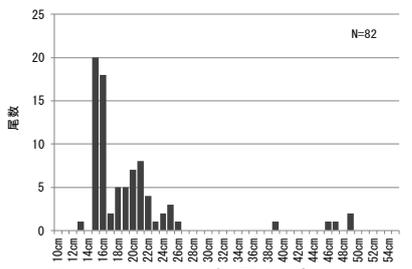


図 12. A-16 外套長組成

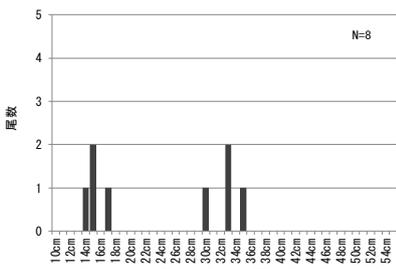


図 4. C-52 外套長組成



図 8. C-58 外套長組成

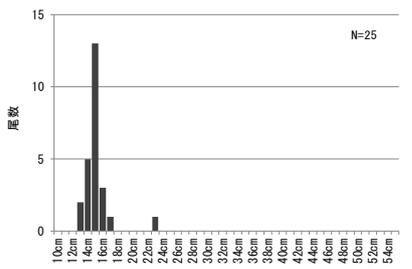


図 13. A-19 外套長組成

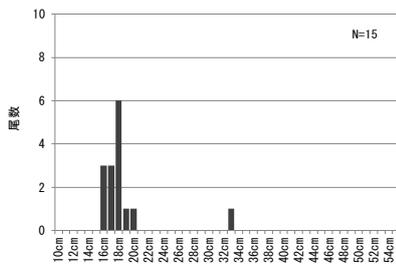


図 5. C-55 外套長組成

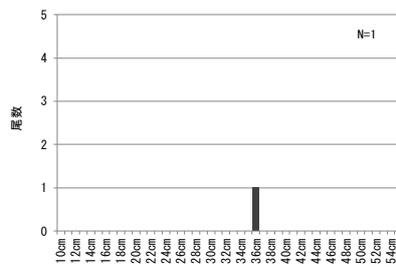


図 14. A-22 外套長組成

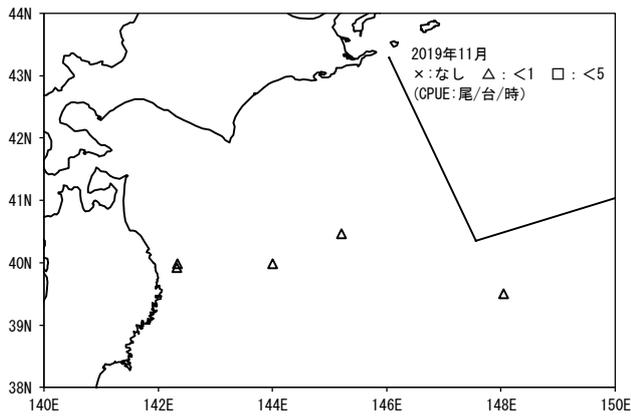


図 15. 第一次調査結果（アカイカ漁場調査）

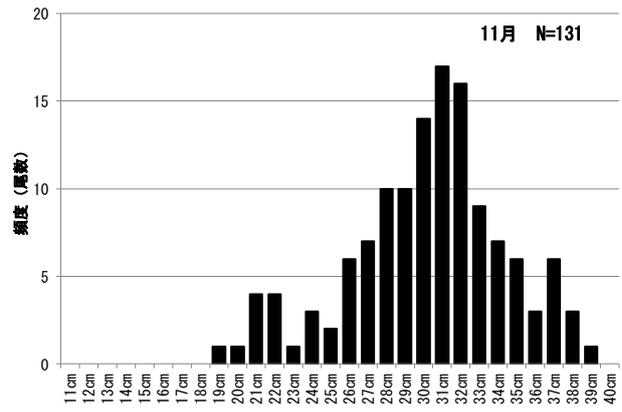


図 16. 第一次調査結果の外套長組成

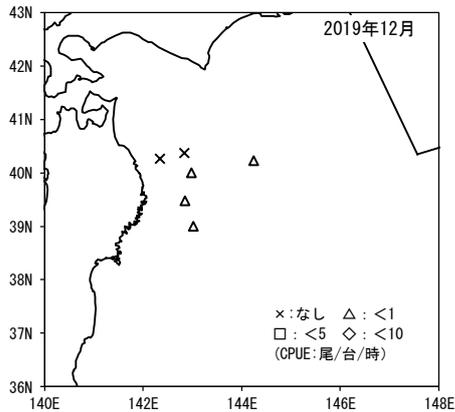


図 17. 第二次調査結果（アカイカ漁場調査）

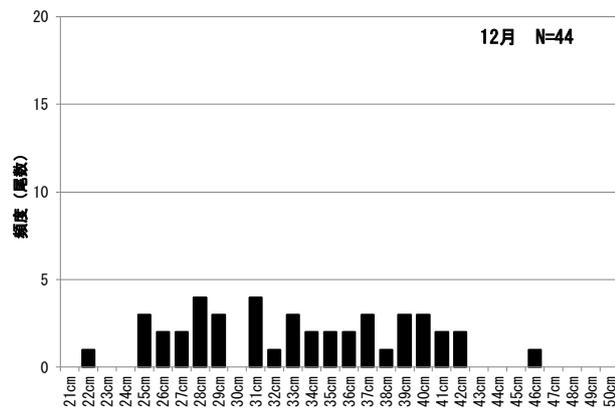


図 18. 第二次調査結果の外套長組成

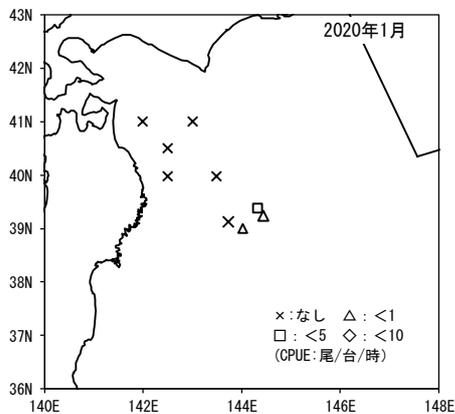


図 19. 第三次調査結果（アカイカ漁場調査）

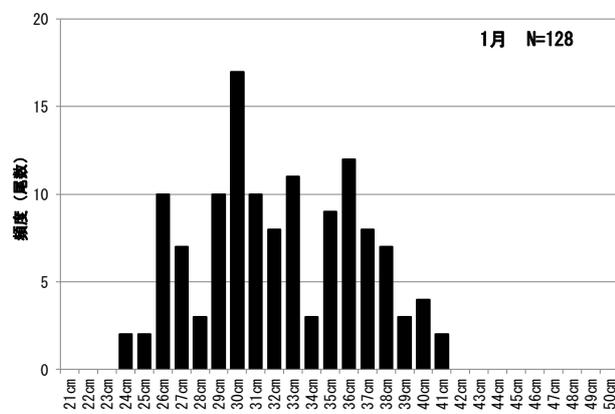


図 20. 第三次調査結果の外套長組成